

広 報

2018年7月号

編集委員 江村公良 毛塚博行 南出美佐 前原直之

※8月のレセプト提出日は 8月8日（水）です

返戻を含む紙レセプト、猶予期間のフロッピーの提出はこの日にお願いします。
オンライン請求の場合でも、処方箋受付枚数・広域医療機関受付枚数の報告は継続してお願い
しております。FAXでもよいのでよろしくお願いいたします。

※別添の「豊島区薬業協同組合」の広報もご覧ください

事業者用ごみ処理券の販売の案内もぜひご覧ください。

都薬関連およびその他の重要な連絡事項など

1) 【再掲】「薬学講習会」開催のお知らせ

日時：平成30年8月26日（日）14:00～17:10（予定）

場所：東京国際フォーラム ホールA

（受動喫煙防止対策の強化・実現を図るため「全面禁煙」です。）

受講対象者：都内在住・在勤の薬剤師

受講料：無料（当日申込～都薬会員証をご提示ください。）

※都薬おまとめ便リーフレット参照

2) 副作用報告実施手順等を既存の手順書に加筆してください。

※地域支援体制加算を算定している薬局は、経過措置期限までに必ず手順書を完成させてください※

平成30年度調剤報酬改定では、これまでの基準調剤加算が廃止され、新たに地域支援体制加算が新設されました。この加算の算定要件では、医薬品等に係る医療安全情報の共有体制整備として「副作用報告に係る手順書を作成し、報告を実施する体制を有していること」等が求められています（平成30年9月30日まで経過措置あり）。

各薬局におかれましては、すでに法に基づき「医薬品の安全使用」並びに「調剤された薬剤及び医薬品の情報提供等」に関する指針と業務手順が整備されていることと存じます。つきましては、各薬局において「副作用報告に係る手順書」を作成する際には、策定済みの手順書に加筆くださいますよう、お願いします。

日薬では、薬局がその制度に基づいた副作用等の報告の実施を検討する際に、医療機関と薬局との連携を推進するため、その具体的な実施手順等を整備することを目的とした資料

(実施手順等の作成のための手引き)を作成しました。
同資料につきましては、日本薬剤師会ホームページをご参照ください。
(日本薬剤師会会員向けHP) 会員向けページ>各種資料(会員向け)>
薬局における医薬品・医療機器等安全性情報報告制度への取組みについて
(実施手順等の作成のための手引き)
<http://nichiyaku.info/member/siryou/default.html>

3) 薬剤耐性(AMR)対策資材の配布とダウンロードについて

平成28年に「薬剤耐性(AMR)対策アクションプラン 2016-2020」が策定されました。このアクションプランには、薬剤耐性の拡大を防ぐためにこの5年間で取り組むべきことの一つとして、専門職等への教育・研修を推進することはもとより、『国民の薬剤耐性に関する知識や理解を深める』ことが挙げられています。
この度、AMR 臨床リファレンスセンターより、薬局での説明用の資材として、また、患者・一般向けの啓発資材としても活用できるポスターをご提供いただきました。7月の「医薬情報おまとめ便」に同梱いたしますので、薬局内での掲示をお願いいたします。
その他、リーフレット等の資材はこちらから、ダウンロードができます)
<http://amr.ncgm.go.jp/>

4) 東京都薬剤師会「管理薬剤師研修会」のお知らせ

新たに薬局・店舗販売業の管理者となった薬剤師、今後管理者となることが見込まれる薬剤師、地区薬剤師会等で指導的な立場にある会員が対象です。

地域の健康サポートを担う、かかりつけ薬局として地域住民から認知されるには、情報拠点としての体制整備、地域包括ケアにおける支援・サービス提供を始めとする多職種連携など、様々な活動が求められます。管理薬剤師としての自覚と責任を持って管理すること、勤務薬剤師の育成や薬局業務の再点検も日々の大切な業務です。薬局が担うべき役割は調剤業務だけではありません。これからの管理薬剤師に必要な知識の習得のため、ぜひお申し込みください。(別紙参照)

平成30年10月25日(木)、11月8日(木)、11月22日(木)、12月1日(土)
木曜: 19:00~21:00、土曜: 15:00~19:00(全4回シリーズ)

5) 「ミソプロストール」を個人輸入して使用することがないように注意喚起

日本ではミソプロストール製剤は、医療用医薬品の抗NSAID潰瘍剤(サイトテック)として販売されています。本剤はプロスタグランジン製剤であり、子宮収縮作用を持つため、妊婦又は妊娠している可能性のある女性は禁忌となっています。
このミソプロストールを有効成分とした海外の経口妊娠中絶薬を、インターネットを介して個人輸入して服用し、健康被害が生じた事例が報告されています。このことから、厚生労働省では、このような医薬品を安易に個人輸入して使用することがないように注意喚起し、また、個人輸入を制限するために、ミソプロストールを「数量に関わらず厚生労働省の確認を必要とする医薬品」として追加しましたのでお知らせいたします。

6) 【再掲】今年度のDEM事業について

DEM事業は、従来の方法(患者への聞き取り調査)を変更し、昨年度から「新薬として薬価収載されて1年が経過し長期投薬が可能となり、広く使用されるようになった医薬品」

に焦点を当て、それらの「薬歴記載内容の調査」を実施しています。

今年度は、これまで発見されなかった新たな事象を投与初期に発見するために、対象薬の初回投与開始から約3カ月（13週間）以内のイベントの調査をお願いいたします。
資材が届きましたら、お確かめください。

7)〈OTC医薬品情報〉【再掲】一般用黄体形成ホルモンキット（排卵日予測検査薬）

の情報提供の徹底について

一般用LH（黄体形成ホルモン）キットは、第一類医薬品に分類されることから「購入者から説明を要しない旨の意思表示があった場合」を除き、購入者に対して必ず薬剤師が情報提供を行う必要があります。（但し、第一類医薬品が適正に使用されると認められる場合に限る）

各メーカーから配布されているチェックシートと共に情報提供の徹底をよろしくお願い申し上げます。特に、「避妊目的で使用できないこと」「結果により、医師を受診すること」の情報提供をお願いします。

※別紙参照

豊島区薬剤師会からの連絡事項

1)【再掲】豊島区薬剤師会ホームページをぜひご覧下さい

ホームページの内容が充実してきました。今後もより良いページを作りたいと思います。

（FAXや配布物などはいままで通りです。）

ホームページアドレス <http://www.toyoyaku.jp/>

会員専用ページに入るには、パスワード「t o s h i m a」を使ってください。

会員退会

斉藤 清一（B）

山田 英夫（A） 大塚快生堂薬局

武政 めぐみ（B） ホサカ薬局

会員数報告

A会員 113名

B会員 22名

賛助会員 1名

合計 136名

保険部より

1) 高齢者の高額療養費、算定基準の見直し 窓口掲示用ポスターを作成

高齢者の高額療養費については、制度の持続可能性を高め、世代間・世代内の負担の不公平や、負担能力に応じた負担を求める観点から、低所得者に配慮した上で、算定基準の見直しを段階的に実施しております。

今年8月1日からの算定基準額について、窓口掲示用ポスターが作成されたとの案内がありました。ポスターは以下のURLより閲覧・ダウンロードが可能となっています。薬局内の掲示にお使いください。

厚生労働省ホームページ › 政策について › 分野別の政策の一覧 › 健康・医療 › 医療保険 › 高額療養費制度を利用される皆さまへ

(URLは以下のとおり)

http://www.mhlw.go.jp/stf/seisakunitsuite/bunya/kenkou_iryuu/iryuuhoken/juuyou/kougakuiryuu/index.html

2) 都立大塚病院 院外処方せんの連絡欄の変更

都立大塚病院の院外処方せん(右側)連絡欄の内容が7/5以降変更になっています。
従来は先発品⇄後発品の銘柄変更や同一用量における薬剤規格の変更等については疑義照会ならびに変更報告不要な内容の記載がありましたが、今後は、法令に基づいた疑義照会あるいは変更報告を行って下さい。

※詳細は別紙をご参照下さい。

3) 【再掲】保険に関する情報は「豊島区薬剤師会保険部グループページ」をご覧ください

すでに参加されている方もいらっしゃると思いますが、豊島区薬剤師会では保険関係の情報を細かく伝達するために、専用のページを設けております。

まず、豊島区薬剤師会ホームページの会員専用ページに入っていただき、「保険部ページへの参加のお願い」をご覧ください、それに従って登録ください。

学術部より

1) 豊島区薬剤師会学術勉強会のお知らせ

8月の勉強会はお休みとなります。

薬学生実務実習関係

1) 【再掲】東京都薬剤師会「学生向け」「とやく携帯メルマガ」配信のお知らせ

東京都薬剤師会では、薬学生が、卒業後「東京都薬剤師会に入会しよう」という動機づけとなることを期待して、携帯電話によるメールマガジンの配信を開始します。実務実習受入薬局には案内ポスターを配布いたしますので、薬学生への案内をお願いいたします。なお、学生対象ですが、会員への配信も可能です。

池袋あうる薬局輪番

8月の輪番は以下の通りです。出勤よろしくお願ひいたします。

お願ひ ～輪番に入る7日前までに、出勤する方の氏名をあうる薬局まで連絡してください。

8月	日 勤 9:00 ～ 16:30		準 夜 16:00 ～ 22:00	
			受付事務入力兼任	
4日(土)			いろり薬局	ことり薬局
5日(日)	こまごめ薬局	あうる薬局	めぐみ薬局	佐藤薬局
11日(土)	ヒバリ薬局	高田馬場薬局	サン薬局ときわ通り店 さの薬局	あうる薬局
12日(日)	大澤第一薬局	駒込中央薬局	いろり薬局 大澤第一薬局	駒込中央薬局
18日(土)			かもめ薬局	北池薬局
19日(日)	春日通薬局	あうる薬局	チチブ薬局	ことり薬局
25日(土)			ヒバリ薬局	あうる薬局
26日(日)	こまごめ薬局	あうる薬局	あかまつ薬局	佐藤薬局

長崎休日診療所派遣

8月の輪番派遣は以下の通りです。出勤よろしくお願ひいたします。

8月	
5日(日)	椎名町薬局
11日(土)	長崎調剤薬局
12日(日)	エンゼル薬局
19日(日)	椎名町薬局
26日(日)	大澤第一薬局

医薬品・情報管理センター報告

○管理センター売上及び仕入

平成30年6月売上金額 ￥5,045,813―

平成30年6月仕入金額 ￥4,413,784―

○相談件数

6月	件数
薬局からの在庫確認	130
薬局からの処方箋応需	4
患者からの処方箋応需	2
医療用医薬品についての相談	5
医療機関の紹介	0

一般用医薬品についての相談	0
その他	9
合計	150

○池袋あうる薬局処方せん受付状況

休日夜間 146枚

その他 491枚

○情報発信

ADHD (注意欠陥多動性障害) 治療薬について

先日、ストラテラを服用中の患者さんからコンサータに関する質問を受けました。
そこで今回はADHD治療薬について調べてみました。

まずADHDとは、多動性・衝動性・注意力の3つに障害がみられる疾患です。

多動性：じっとしていられない、多弁、そわそわ動いている。

衝動性：場の空気とは関係なく発言する、順番を待てない。

注意力：片づけができない、すぐ忘れてしまう、集中できない。

原因は明確ではありませんが、先天的な発達障害や環境による発達により、脳の前頭葉の神経伝達異常(シナプス間のノルアドレナリン、ドーパミンが不足)により症状が出るとされています。

ADHDに適応を持つ薬剤は以下の3種です。

コンサータ(メチルフェニデート)

ストラテラ(アトモキセチン)

インチュニブ(グアンファシン)

特徴は下表のようになります。

	コンサータ	ストラテラ	インチュニブ
薬の種類	中枢刺激薬	非中枢刺激薬	非中枢刺激薬
作用する神経伝達物質	ドーパミン ノルアドレナリン トランスポーター	ノルトランスポーター アドレナリン	α 2A アドレナリン受容体
効果の発現	服用後すぐ	2週間から効果がみられ、4週間程度で安定	1週間
効果の持続時間	12時間(オン・オフがはっきりしている)	終日にわたって持続	終日にわたって持続
服用回数	1日1回	1日1または2回	1日1回
主な副作用	食欲不振・不眠・体重減少	頭痛・食欲減退・傾眠	傾眠・血圧低下・頭痛
適応年齢	6歳以上	6歳以上	6～18歳
処方条件	規制薬(※)	非規制薬	非規制薬

※処方日数制限：30日(第1種向精神薬)

薬局間譲渡・譲受および卸への返品：禁止

流通：申請→e-ラーニング→登録完了

処方を受けた際は医師が登録されているかwebで確認が必要。

管理者の設置：管理者は管理薬剤師となっているため、管理薬剤師変更時は
コンサータの管理者変更も合わせて行う必要がある。

以上のことから、薬剤間でかなり明確な差があります。

メチルフェニデートが食欲減退作用があり、やせ薬として使われたこともあるように
コンサータは食欲減退が高頻度、また覚醒作用による不眠が問題となります。

一方、ストラテラやインチュニブでは傾眠が高頻度で見られます。

インチュニブは血圧低下、徐脈が問題となるため投与開始前後、用量変更1～2週間後には
血圧・脈拍測定をする記載があります。

広域病院処方せん受付状況報告

	都立大塚		豊島病院		長寿医療センター	
	件数	枚数	件数	枚数	件数	枚数
6月	1,323	1,401	81	94	73	85

理事会報告

平成30年7月17日（火）午後8時15分より豊島薬業会館1階会議室にて理事会が開催されました。

出席者：遠藤会長 佐野副会長 江村副会長 佐藤副会長 黒須副会長 田崎常務理事
毛塚常務理事 元谷常務理事 伊原常務理事 林理事 南出理事
大澤監事 田中監事

○前月分理事会議事録承認

○報告事項

1. 会長会報告
2. 保険部報告
3. 池袋あうる薬局運営委員会報告
4. 学術部報告
5. 保健所の仮移転先の図面レイアウト案の件
6. 平成30年度第1回・第2回公開講座の件
7. 都立大塚病院医療連携薬事連絡会の件
8. 東京都在宅訪問薬剤管理実施可能薬局検索システム

○協議事項

1. 健康展の件

今年度の健康展において、骨密度計を扱える有資格者の確保について討議、検討し、また今年度のテーマを「生活改善！ ～気をつけよう 塩分 糖分 脂肪分」とすることとなった。

2. あうる薬局における CADD Legacy PCA ポンプおよびカフティポンプの購入の件
あうる薬局において、平成 31 年から平成 35 年までに CADD Legacy PCA ポンプおよびカフティポンプを毎年各 1 台ずつ購入することとなった。
3. 平成 30 年度の職掌分担の件
平成 30 年度の公益法人豊島区薬剤師会の職掌分担について各事業の担当者が決定された。

○審議事項

1. 副会長及び常務理事選定の件
副会長に佐野雅昭、江村公良、佐藤栄輔、黒須俊行、常務理事に田崎崇、毛塚博行、元谷英志、伊原孝子、前原直之の選定が承認された。
2. 社団印章取扱規程案の件
社団印章取扱規程案について諮られ、施行されることが承認された。
3. 監事監査規程案の件
監事監査規程案について諮られ、施行されることが承認された。

豊島区薬剤師会の活動（6月）

- 6／ 6 池袋あうる薬局運営委員会
- 7 レセプト受付
豊島区薬剤師会 監査会
豊島区在宅医療連携推進会議
- 8 実務実習生集合研修会
- 9 東京都薬剤師会 第93回通常総会
- 11 豊島区薬剤師会 理事会
- 14 池袋あうる薬局 保健所移転に関する現場調査
- 15 第33回健康展打合せ（豊島区担当者）
- 16 東京都薬剤師会 地区及び職域薬剤師会会長会
- 19 アトリエ村コアミーティング
- 21 豊島区がんケアパス作成検討会
薬薬連携セミナー
豊島区薬剤師会 学術勉強会
- 25 実務実習生 学校薬剤師実習
- 26 豊島区薬剤師会 通常総会
- 30 在宅医療・介護地区担当者会議

医薬品分割販売利用案内

平成30年4月

公益社団法人豊島区薬剤師会 会長
豊島区医薬品・情報管理センター センター長

※要遮光の医薬品（散剤、顆粒、ドライシロップ、水剤）について、仕切り書と薬ラベルに「遮光」と記載することになりました。保存に関しては各薬局にて管理をお願いします。

1. 分割販売品目

医薬品約1800品目、投薬ビン・軟膏壺などの医療材料

豊島区薬剤師会ホームページに販売品目リストを掲載しております。

2. 販売単位

錠剤・カプセル	1錠・1カプセル単位
散剤・顆粒・ドライシロップ	1g単位（バラ）、1包単位（分包品）
水剤	1ml単位（バラ）、1包単位（分包品）
軟膏・クリーム	1g単位（バラ）、1本単位（チューブ）
点眼・点耳・吸入	1本単位
ハップ剤	1袋単位
坐剤	1個単位
医療材料等	1個単位

容器が必要な場合は、所定の容器（有料）を使用いたします。

3. 販売価格

医薬品	薬価（消費税込）
その他（医療材料等）	取扱品目リストに掲載

4. 手数料

豊島区薬剤師会 会員	無 料
区外 東京都薬剤師会 会員	1回 108円（消費税込）
その他医療機関	1回 2160円（消費税込）

5. 検収・返品

医薬品受領時に必ずご確認ください受領印もしくは自署をお願いいたします。
品質管理上、返品はできません。
ただし、メーカー回収の場合は、この限りではありません。

※使用期限が2ヵ月未満の場合は事前に確認の連絡をさせていただきます。
2ヵ月以上でも期限の確認が必要な方は発注書の備考欄にその旨をご記入ください。

6. 発注方法

注文方法 : 専用の発注書に必要事項を記入のうえ、FAXにてご注文下さい。
(電話での注文はお受けしておりません。)

受付時間 : 9時 から 16時30分 月曜日～土曜日

受取時間 : 9時 から 17時 月曜日～金曜日
9時 から 21時30分 土曜日・日曜日・祝日

※年末年始、棚卸等により臨時休業する場合があります。(ホームページでご確認ください)
※指定の発注書は、ホームページよりダウンロードできます。

7. 利用者の確認事項

初回利用時には、開設許可証の写しをご提出いただきます。
また、都薬の会員証をお持ちの方は会員証の写しもご提出下さい。
なお、豊島区薬剤師会会員の方は提出不要です。

その他開設許可更新等、管理センターが開設許可証の確認が必要と判断した場合には、再度ご提出いただくことがあります。

8. 支払い方法

豊島区薬剤師会会員は、原則として月末日締め「翌月口座引落」となります。
その他の方は、「薬品受け取り時に現金支払い」となります。

- * 管理センターでは、会員様の要望のあるものにつきまして、取り扱いを検討し、採用するか否かを決定する資料として使用します。つきましては下の要望書に記入し、あうる薬局に提出してください。FAXでかまいません。
- * 集計管理上、1枚1品目とし、複数の場合はコピーしてお使いください。

..... (きりとり)

医薬品管理センター取り扱い要望書

平成 年 月 日

薬局名 _____ 印 _____

以下の製品の取り扱いを要望します

製品名	規格

管理センター取り扱いリスト追補

* 新規取り扱い（過去に中止または停止したものの再開、リスト作成時に漏れたものも含む）

	製品名	小分単位	備考
内	Ｌ-グルタミン顆粒９９％「NP」	g	
内	イーケプラ錠２５０mg	錠	
内	インチュニブ錠１mg	錠	
内	オランザピン細粒１％「サワイ」	g	
内	カリメート経口液２０％（オレンジフレーバー）	包	
内	クエチアピン細粒５０％「サワイ」	g	
内	フロセミド錠４０mg「テバ」	錠	
内	ベイスン錠０．２	錠	
内	ミノドロン酸錠５０mg「サワイ」	錠	
内	ラロキシフェン塩酸塩錠６０mg「サワイ」	錠	
内	ランソプラゾールOD錠１５mg「テバ」	錠	
内	ランソプラゾールOD錠３０mg「テバ」	錠	
内	リザトリプタンOD錠１０mg「ファイザー」	錠	
外	ジクロスターPF点眼液０．１％	本	
外	ネオキシテープ７３．５mg	枚	

* 取り扱い中止

	製品名	備考
内	ルジオミール錠１０mg	
外	エパテックローション３％	
外	デルモゾールG軟膏	
外	ボンアルファ軟膏２μg/g	
外	メディトランスランステープ２７mg	
外	ラタノプロストPF点眼液０．００５％「日点」	
外	レスキュラ点眼液０．１２％	